



# 九条の会

九条の会奈良県ネットワーク運営委員会  
 発行責任者 佐川愛子  
 ✉ nara9jyonokai@gmail.com  
 ☎ 090-9885-9756  
<http://blog.goo.ne.jp/9naranel>  
<http://www.nara9jyonet.com>  
 48号 2021年3月8日発行



最近の街宣でチラシの受け取りが良く、署名を積極的にしてくれる市民が増えています。今の政治への不信や怒りが伝わってきます。5月8日(土)13時半開始,文化会館小ホールで「第14回憲法講座」を行います。講師は「渡辺治さん」です。

九条の会奈良県ネットワークへの2020年度の協力金をお願いします。  
**送付先:** ゆうちょ銀行  
 記号14530 番号27006271  
 九条の会奈良県ネットワーク

### 3市7町交流会が2月16日に開催されました。

生駒市,郡山市,香芝市,広陵町,平群町,三郷町,斑鳩町,王寺町,河合町,上牧町の3市7町九条の会は月に一度の交流会を行っています。

各地域の活動や課題などが出され交流されています。コロナ禍で講演会や集会が開催できない,地域の活動に参加できないなどの悩みが出されました。一方,ニュースや便りを発行して会員を繋いでいる事やスタンディングで市民に訴える活動が報告されました。

**生駒;** 2月9日, 2月19日に生駒駅でスタンディング。ニュースを発行, 会員さんに届ける。

**平群;** ニュース発行。(ホームページに掲載) 19日に道の駅でスタンディング。

**斑鳩;** 世話人会で雑誌「憲法運動」をテキストに学習会を行っている。公民館まつりは中止。

**香芝;** 「九の日宣伝」2月9日近鉄二上駅, 3月9日近鉄下田駅。五位堂駅前に「大看板再建」5月3日憲法記念日に披露。募金とともに暖かいメッセージが寄せられる。事務局に新たに2名の方が加わる。会報をみんなで作っている。(ホームページに掲載) 1月30日31日に戦争遺品の展示を行う。

**河合;** 世話人会9名で活動。便りだけは発行しようと女性にも原稿を書いていただく。4月には配りたい。4月か5月に映画会か懇談会を行いたい。

**広陵;** 世話人会を月1回15日に行い8名参加。19日行動を行い改憲発議反対の署名を行う。5月までに500筆に到達したい。看板の修理・建設準備。ニュース第30号発行準備。

**上牧;** 世話人会5名が集まる。九条の会会員100名へのニュース(ホームページに掲載)と署名用紙を配布。



生駒9日街宣; 菅政権・統治能力完全崩壊-コロナ失政、森「女性蔑視」本音発言、 田野瀬(奈良3区選出)・夜の銀座深夜飲食カルテット。森喜朗会長の女性蔑視の暴言に著名な陸上世界選手権のメダリスト為末さんが「沈黙は賛同だ」、「森会長辞任を」と発出されました。「あっぱれ!!」かのアインシュタインは「この世は危険なところだ。悪いことをする人がいるためではなく、それを見ながら、何もしない人がいるためだ」との名言を残しています。その通り! これらのことばは、【ニーメラの警句「彼らが最初共産主義者を攻撃したとき 自分はやや不安になった。けれども結局自分は共産主義者でなかつたので何もしなかつた。それからナチは社会主義者を攻撃した。自分の不安はやや増大した。けれども自分は依然として社会主義者ではなかつた。そこでやはり何もしなかつた。それから学校が、新聞が、ユダヤ人が、というふうに次々と攻撃の手が加わり、 そのたびに自分の不安は増したが、なおも何事も行わなかつた。さてそれからナチは教会を攻撃した。そうして自分はまさに教会の人間であつた。そこで自分は何事かをした。しかしそのときにはすでに手遅れであつた。】に通じます。今こそ声を上げなければなりません。

(文責 溝川悠介)

2月19日奈良市九条の会交流会が高の原駅前で行いました。

温かく穏やかで春の萌しを感じる明るい陽気の中、蟻の会のみなさんの力強い太鼓の音で19の日街宣が始まりました。歌声や太鼓の音を響かせ、平和な世界を実現しようと市民の皆さんに訴えました。参加者23名はチラシ配布や改憲発議に反対する署名活動を行いました。チラシ100枚が30分ほどで完配。参加者が準備した横断幕「だまってちゃダメ 言おう！あなたの思い」—この言葉を広げていきましょう！

アドリブで歌われた「春よ来い」の歌声が、コロナ禍で不安な生活や自粛の生活を強いられている参加者や市民の心に沁みわたりました。「春よ来い、早く来い」

菅政権は、「改憲4項目」の実現を水面下ですすめています。昨年の菅政権の発足後、11月19日、26日、12月3日と立て続けに憲法審査会が開かれ、維新の会からの動議を受けて、通常国会での国民投票改正案の採決を強行採決に持ち込もうとしています。12月24日、衛藤改憲推進本部長は党内幹部を集め、「国民投票改正案の採決に持ち込む方針」を伝達、二階幹事長は「改憲について通常国会で正面に立って対応する」と表明しました。改憲強行突破の危険が迫っています。国民投票改正案はマスコミへの規制が全くなくお金がある自民党が有利になるという不平等な改正案です。自民党はマスコミ規制については、改正案を採決した後、審議すればいいと主張していますが憲法審査会で国民投票法案が採決されれば直ちに国会で発議されることは目に見えています。

自衛隊が憲法9条に明記されれば自衛隊は集団的自衛権に基づいてアメリカが進める戦争に加担されます。歴代の首相は憲法9条を守り戦争に加担させられる危機から日本を守ってきました。市民のみなさんと一緒に平和な社会を若者や子どもたちに引き継ぐために「憲法9条を守る」声をあげていきましょう。



九条の会・桜井が近鉄桜井駅前でスタンディング宣伝となりました。宇陀市から2人が加わり、合計6人で、「憲法生かして、コロナ対策、核禁止条約批准を」とチラシ配布と署名を訴えました。残念ながら、署名はありませんでしたが、『田野瀬議員は辞職』のプラスターには注目していただきました。宣伝後、近鉄八木駅での市民連合中南和の宣伝に合流しました。



### 富田宏治さんと語ろう③ 「新自由主義から共助・公助へ」

日時：2021年4月10日(土)

13:30~16:30

場所：中部公民館 第3・4講座室

近鉄奈良駅から徒歩5分

講師：富田宏治 関学教授

平城ニュータウン九条の会は2月9日の寒風の中、15:00~16:00迄 近鉄高の原駅前「9の日」アクションを8名の参加者で行いました。サイレント・アクションで、「へいわっていいね」のチラシを配布し平和の大切さを 高校生・大学生に訴えました。横断幕は平城ニュータウン九条の会のメインテーマである「だれの子どももころさせない」を中心に国連広場「イザヤの壁」の言葉「彼らはその剣を打ち変えて鉄となし、その槍を打ち変えて鉄となすべし、国は国に向かいて剣を上げず、もはや戦いのことを学ばざるべし」の横断幕を掲げ日本国憲法の持つ平和主義に通じる事を訴えました。核兵器禁止条約の批准を日本政府に求める署名が6筆集まりました。